

- 1 中東・北東アジア情勢—日本の外交戦略が問われる正念場
- 2 新政権は国民生活の不安解消を急げ
- 3 選挙戦の影で見過ごされたものは
- 4 その他のニュース

A (朝日)、M (毎日)、Y (読売)、N (日経)、サ (産経)、H (赤旗) の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

ニュースヘッドライン

1 中東・北東アジア情勢—日本の外交戦略が問われる正念場

- 8.23 北朝鮮弔問団、李明博大統領と会談—南北間の関係改善や問題解決を望む金正日総書記のメッセージを口頭で伝える (8.24T) →8.24T 「金大中氏に最後の別れ—30年ぶり韓国葬、弔問72万人を突破」 →8.25M(社) 「北朝鮮の変身—『核廃棄』につなげたい」 /N者 「北朝鮮の対話攻撃に警戒は崩せない」 /T(社) 「南北対話—『核放棄』進展が前提だ」
⇒南北合意—8.26～28 南北赤字会談開催 (8.25A夕)
- 8.24 米原子力空母ミニッツ、横須賀寄港—ミニッツ (97,000トン、乗組員5,600人)、1997.9以来 /反対派抗議 (8.24T夕) →8.25H 「『米原子力空母来るな』—横須賀で平和団体が抗議」
- 8.24 イラクー中部クート近郊で小型バス爆弾—少なくとも20人死亡、10人負傷 (8.25A)
⇒8.29 北部モスル郊外で相次ぎ爆弾テロ—少なくとも15人死亡、30人以上負傷 (8.30A)

☆アフガン大統領選挙と米のアフガン戦略「失敗」

- 8.25 アフガン—8.20 大統領選中間集計 (選管委員会発表)—得票率、カルザイ大統領約41%、2位アブドラ前外相約39% (8.26A)
⇒8.25 アフガン西部で道路脇爆弾—米兵4人死亡→09年に入ってから外国兵



アフガニスタン北部クンドゥズ (Kunduz) で、国際治安支援部隊 (International Security Assistance Force, ISAF) がイスラム武装勢力タリバン (Taliban) が乗っ取った燃料輸送車に対して行った攻撃で負傷し、病院に運び込まれる負傷者 (2009年9月4日撮影)。 (c)AFP CNNは市民を含む90人が死亡と…

死者 295 人／南部カンダハル市中心部大爆発—少なくとも 8 人死亡 (8.26A)

⇒8.25 南部カンダハル市中心部で自動車爆弾—少なくとも 41 人死亡、66 人負傷 (8.26 Y 夕)

8.26 A 「テロ容疑者の尋問、C I A 報告書一部公開—銃突きつけ『供述なければ家族拘束』—意識失うほど首絞め、無理やり起こす」

⇒8.24 米司法省『拷問』の実態捜査のため担当検察官、ジョン・ダーハム連邦検察官を起用 (8.26 Y)

⇒8.29 アフガン大統領選挙・選管集計—有効票 203 万票余り、カルザイ氏 46.3%、アブドラ氏 31.4%、バシャルドスト氏 13.6%… (8.30A) →8.25M 「『反オバマ』銃で示威—市民集会、所持者相次ぐ、当局警戒強める」—オバマ大統領が全米各地で開催する対話集会の会場周辺で、銃を携行する市民の姿が目立つ

2 新政権は国民生活の不安解消を急げ

8.24 N 「経団連、支持政党明示せず—衆院選後に政策要望協議」—日本経団連・御手洗会長「(今回の衆院選につき)日本の命運を握る。政策論争をした上で国民の選択に任せるのが本筋だ」

8.24 N 「国民年金実質納付率—3年連続 50%割れ」—社会保障庁試算、08 年国民年金保険料納付率は 45.6%—3年連続で 5割下回る—年齢若い程納付率低く 20~24 歳は 24.2%、25~29 歳 36.5%…55~59 歳 60.3%

☆期日前投票大はやりとネット選挙の公然化

8.24 期日前投票、前回の 1.5 倍 (総務省、8.23 中間状況発表)、8.19~8.23 の 5 日間で今回有権者 (8.17 時点) の 2.9%に当る 305 万 5,634 人が投票、対前回比 52%増 (8.25A)

8.24 Y 「『ネット選挙』公然と、公示後も更新—自民、民主を徹底批判—民主、幹部の動き発進」—公選法 142 条骨抜き

☆民主「圧勝予測」と失業率最悪下の投票

8.27 A 「民主、320 議席獲得も—自民激減、100 前後—総選挙中盤本社情勢調査—民主候補者不足か、比例」「元首相・閣僚ら苦戦—自民大物、比例で衝突も—民主新顔 6割優勢—前職・元職劣勢ゼロ」→8.28M 「民主勢い保つ、本社世論調査—衆院選終盤『比例投票』44%—『首相に』鳩山代表 31%」→8.28 Y 「民主圧勝の勢い保つ、衆院選終盤情勢調査—自民、激戦区で猛追」

8.28 失業率、最悪 5.7%—7月求人 0.42 倍、最低更新』—総務省発表・労働力調査—7月の完全失業率 (季節調整値) 5.7% (前月比 0.3%増) / 厚労省発表の 7月の有効求人倍率 (同)

0.42 倍（前月 0.01 倍下まわる）、3 ヶ月連続で過去最低／完全失業者数 359 万人（前年同月比 103 万人増／年齢別失業率—15～24 歳 9.9%で最高（8.28A 夕）→8.28M 夕「失業率最悪更新、予測超す悪化速度—消費減退、悪循環の可能性」「働かないとダメになる、失業率過去最悪 5.7%—元派遣受け入れ横浜の団地、入居者ら消えぬ不安—ハローワークでもため息」→8.28N 夕「雇用調整、非製造業にも—失業率最悪 5.7%『年末に 6%』の見方」「景気回復の足かせに一雇用悪化、消費下押し—物価下落、企業に打撃」→8.28T（夕）「賃金カット、サービス残業…かすむ争点—過労正社員悲鳴届くか—人手不足『いつ倒れても…』『給料維持を』」→8.29A「正社員も削減加速、失業率最悪 5.7%—全産業が壊滅状態、新規求人、4 ヶ月続き前年以下—専門家『6%台に悪化も』」→8.29T 者「失業率最悪—次期政権は抜本対策を」

8.29 期日前投票 1,094 万 4,845 人（総務省発表）—前回の 1.63 倍、全有権者の 10.49%—1 位秋田 17.0%、最下位滋賀 8.2%（8.30A）

☆歴史的選挙当日と自民、民主の「全面広告」競争

8.30 A「政権選択きょう投票—総選挙、未明までに大勢判明—民主、勝利なら即人事」／M「4 年ぶり政権選択—きょう衆院選投開票」／Y「政権選択の日—きょう衆院選投開票」／N「衆院選きょう投開票—政権継続か交代か」／T「『政権交代か継続化—衆院選きょう投開票』」／サ「この国はどう変わるのか—期日前投票は過去最高・衆院選きょう投開票・深夜に大勢判明」

8.30 各紙社説

A「きょう投票—政治を引き受ける君へ」

M「きょう審判—未来を選択する 1 票に」

Y「きょう投票—1 表が日本の進路を決める」

T「一票を魂込めて—衆院選きょう審判」

H「総選挙きょう投票—歴史を開く一票日本共産党へ」

8.30 自民、民主両党、各紙に全面意見広告—自民「日本を壊すな。」の大文字を掲げ、「あなたのために。この国のために。」と呼びかけ、日本経済を壊すな、反日教組、反労組文言を並べ—「日本を守る、責任力。自民党」と銘打つ／民主「本日、政権交代。」と大文字を入れ、鳩山代表の大型顔写真を配する

☆民主 308 議席の「圧勝」と自公政権の崩壊

8.31 総選挙開票進む

A「民主 308 政権交代—自民 119、民主 308—『鳩山首相』誕生へ—自民 119 歴史的惨敗」「麻生首相、総裁辞任へ—公明は小選挙区全敗」「民主、問われる真価—悲願成就高揚と緊張、『国民の勇気に感謝』—連立協議や予算難題次々—大量の新人、『小沢支配』懸念」「自民、険しい再建—結党初第 1 党転落、『宿命と思って甘受』—『ポスト麻生』選び混迷、保守・リベラル対立」「公明、過去最低の議席—太田市代表を辞任へ—共産、是々非々を強調」「鳩

山民主、各国が注視—米『緊密な協力を継続』、安保政策には不安も—中国は『アジア重視』歓迎』『歴史が動いた』—小沢戦術・民主引っ張る—鳩山代表『おごらずに』『不信渦巻いた』—自民・菅氏『党、消費期限切れ』—『逆風、台風クラス』公明の顔続々落選」「中川昭・笹川・久間氏落選—堀内・柳沢・山崎拓・北側氏も／小選挙区、町村・与謝野氏・小池百・野田聖氏ら苦杯」／M「民主 300 超政権奪取」初の本格的政権交代—衆院選、鳩山首相誕生へ」「小沢代表、続投へ—岡田幹事長も、来年の参院選見据え」「自民政治に終止符、麻生首相総裁が辞任表明—現・元閣僚、相次ぎ敗北、小選挙区—公明代表・幹事長が落選」／Y「民主 300 超政権交代、自民歴史的惨敗—鳩山首相選出へ、麻生総裁辞任表明」「自民 55 年目の落目」／N「民主 300 超政権交代—鳩山内閣来月中旬にも、自民は歴史的大敗」／T「民主 300 超政権交代—自民、空前の大敗—鳩山首相誕生へ『自公は反面教師』」／サ「歴史が転換した日、衆院選—民主圧勝、自民惨敗—『鳩山首相』恍惚と不安」／H「自公歴史的敗退、国民の審判下る—民主 300 超、政権交代へ」

8.31 各紙社説

- A「民主圧勝政権交代—民意の雪崩受け止めよ」
- M「衆院選民主圧勝—国民が日本を変えた—政権交代、維新の気概」
- Y「民主党政権実現—変化への期待と重責に応えよ」
- N「変化求め民意は鳩山民主政権に賭けた」
- T「歴史の歯車が回った—民主が圧勝、自民落城」
- サ「民主党政権—現実路線で国益を守れ、保守再生が自民生き残り策」
- H「総選挙開票—自公政権退場の歴史的審判」

☆選挙制度の歪み—得票率 47.4%、議席率 74%の不思議

8.31 選挙結果確定 (9.1A)

●投票率 69.28%—96 年の新制度以来最高

●民 主	308 (選挙前 115)	—小	221 (得票率 47.4%)	比例 (得票率 42.4%)
自 民	119 (" 300)	—小	64 (38.7%)	比 55 (26.7%)
公 明	21 (" 31)	—小	0 (1.1%)	比 21 (11.5%)
共 産	9 (" 9)	—小	0 (4.2%)	比 9 (7.0%)
社 民	7 (" 7)	—小	2 (2.0%)	比 3 (4.3%)
みんな	5 (" 4)	—小	2 (0.9%)	比 3 (4.3%)
国 民	3 (" 4)	—小	3 (1.0%)	比 0 (1.7%)
日 本	1 (" 1)	—小	1 (0.3%)	比 0 (0.8%)
大 地	1 (" 1)	—小	0	比 1 (0.6%)
改 革	0 (" 1)	—小	0 (0.1%)	比 0 (0.1%)

⇒横浜市長選—民主系・林文子候補 910, 297、共産・岡田政彦氏 200, 283

⇒8.31 麻生総裁、辞任表明／公明・太田代表、北側幹事長、辞任表明

⇒8.31 自民、総裁選—9.18 告示、9.28 投開票決める (9.1M)



9. 1 総選挙結果と各紙社説

- A 「政権移行—1分もムダにできない」「歴史的惨敗—出直し自民党への教訓」
- M 「新政権に望む—脱閣僚へ足場固めよ、自民も移行に協力を」
- Y 「政権移行始動—基本政策は継続性が重要だ」
- N 「政治主導の改革で成長と社会の安定を」
- T 「大勝の民主—期待に堪える党運営を」「惨敗の自民—『4年間』耐える覚悟を」
- H 『総選挙結果—日本政治を前に進める第一歩』

☆小沢一郎の影—民主の「二重権力」

9. 初 週刊誌特集

- 9.10 「週刊新潮—特集「われら衆愚の選択」—「宇宙より来た『鳩山由紀夫』という真意不明の男」
- 9.10 週刊文春—「民308議席 vs. 自民119議席・立花隆「自民党の『破滅』—『小選挙区制度』の罠」
- 9.11 週刊朝日—「民主党革命・日本が変わる—「小沢一郎17年戦争—すべては92年、竹下派分裂から始まった」

- 9.11 週刊ポスト—「自民大物」「女刺客」絶叫の当落ドキュメント／「小沢『闇』将軍が日本を支配する—この男は国民の『白紙委任状』を手に入れた」
- 9.12 週刊現代—「308 対 119 自民落城・鳩山完勝—ついに民主党政権誕生、日本が変わる歴史が変わる！」「さあ次は何を壊そうか—小沢一郎支配の始まりと終わり」
- 9.13 サンデー毎日—「民主革命 308 議席—小沢一郎はこう動く！」

3 選挙戦の影で見過ごされたものは

- 8.25 Y「新型インフル—夏休み集団感染 703 校、本社調査—一部活など 2,300 人超」→8.27M「新型インフル、集団感染 4 週連続—新たに 794 件、新学期に急増」「10 月にも第 1 波ピーク—沈静化後、第 2 波も、『来春までに 3 割感染』
⇒8.26 名古屋市、4 人目の死者—市内 74 歳の男性（肺炎）（8.27Y）→8.29A「新型インフル—発症ピーク 9 月下旬にも、1 日最大 76 万人」「42 都府県で『流行開始』」
- 8.25 国民審査—全面意見広告「『一人一票』の実現のために最高裁判官に対する国民審査権を行使しよう！」—1 人 1 票実現国民会議—久保利英明・升永英俊両弁護士）、泉徳治、桜井よし子、堀田力、宮内義彦、屋山太郎氏ら 40 氏の呼びかけ→涌井紀夫、那須公平両判事への批判呼びかけ→8.27A—同一意見広告／Y—同一広告／T—同一広告／8.30A でも→8.26A（社）「最高裁国民審査—開かれた選任こそ課題だ」→8.26A「国民審査成り立ちは、もっと知りたい！—起源は米国、GHQ が主導」→8.27N（社）『国民審査を意味あるものに』→8.28Y（社）「最高裁国民審査—これも 1 票の重要な機会だ」

☆核密約「再密約化」と慰安婦決議「ロビー活動」

- 8.26 A「日本、再密約化を要請、政府関係者証言—99 年米公開の『核密約』文春—直後、非公開に」—日米両国の「核密約」文書が 99 年公開された直後、日本政府が米側に公開取り消しを要請—直後に米務省により再び機密指定→8.30 サ「慰安婦決議阻止へ 4,200 万円—日本政府、米ロビー会社に払う」（8.29 判明）—日本政府、07.3.1~8.31 の間、米ロビー会社ホーガン&ハートソン」（共和、民主両党議員を抱え、所属弁護士 1,100 人以上）に対し計 44 万 8,000 ドル（約 4,200 万円）を支払った—07.1. 末決議案が下院に提出、07.7 採択／同社、下院議員に 13 回（共和 10 回、民主 3 回）、下院議員補佐官らに 122 回（共和 47 回、民主 75 回）と接触／政府関係ではチェイニー氏と面会、副大統領顧問らと 20 回以上にわたり協議、モンデール駐日大使、アーミテージ元国務副長官らとも会見／議会関係者には「日本政府は何度も謝罪している。（決議は）日米関係に悪影響を及ぼす」との資料配布→07.6. 末下院外交委で賛成 39、反対 2 で可決「ロビー活動の失敗だ」（議会関係者）との声も出た／在米日本大使館「国益にとり重要で、米国の理解を得る必要がある外交案件について、わが国の立場への理解を得るため、ロビー会社に委任することはある」と説明

- 8.26 N「生活保護最多120万世帯—厚労省まとめ、今年4月時点—景気悪化が影響、高齢者世帯半数」—受給世帯120万3,874世帯(3月119万2,745世帯)／内訳—高齢者世帯54万8,732世帯(45.6%)、女子世帯9万4,174世帯(7.8%)／保護受給者数166万4,892人

4 その他のニュース

- 8.25 M夕『過酷労働に悲鳴—食事10分、月270時間の残業代3万円以下—外国人研修・実習生、被害相次ぎ—支援団体、見直し要望』
- 8.25 エドワード・ケネディ上院議員(77)死去—ジョン・F・ケネディ元米大統領の実弟
⇒8.29 葬儀—現元大統領ら出席(8.30A)
- 8.27 N「三越、正社員2割削減へ—1,000人規模、年度内めど—百貨店不振止まらず」
- 8.29 国の借金860兆円で最高を更新(財務省発表)—国債や借入金など「国の借金」が6.30時点で過去最高の860兆2,557億円—09.3.末時点と比べ13兆7,587億円増／国内総生産費(GDP)の170%程度、60~70%台の米英仏独に比べ財政事情が厳しい(8.30A)
- 9.1 消費者庁発足—「消費者行政の一元化」を目指し—初代長官・内田俊一元内閣府次官(8.11閣議決定人事)(9.1Y夕)